



## 令和5年度予算編成方針

**問** 特筆すべき予算編成上の留意点は何か。

**答** 編成方針に重点項目の内容を定めることで、政策評価の結果を次の予算に反映できる仕組みに見直した。また、人口減少社会や産業構造の変化などに適応していくために変革を促す必要があることから、予算要求の特別枠として「チャレンジ&スマイル実践枠」を設けるなど、職員に「絶えず挑戦し続けること」を求め、これがまち全体に広がり定着することを目指した。

**問** 本市の向こう10年間の財政見通しは。

**答** 現在の財政見通しでは、扶助費は緩やかに増加し、24億円程度で推移するものと試算し、物件費は施設のランニングコストや行政事務のICT化に伴う経費など、計画期間中の特殊要因を見込み、45億円前後で推移するものと試算している。しかし、推計条件には、人口や国の経済見通し、税制改正や社会保障制度の拡充、自然災害に伴う防災対策など、現時点で予測が難しい事柄もある。



フッピーVoiceでの通報

## ヤングケアラー

**問** ヤングケアラーに対する行政、学校、家庭の連携はどうか。

**答** 子どもにも最も接する機会が多い学校で、家族のケアに過度な負担がある児童生徒が発見された場合、学校と家庭児童相談室、総合健康センターの総合相談窓口などが連携しながら課題を共有し、負担軽減に向けた介護や、障がい者福祉に関する福祉サービスを提供するなど、関係部署が一体となって家族の状況に応じた支援を行っている。

## 通報システムの活用

**問** 「フッピーVoice」の効果と課題は何か。

**答** 道路の陥没や公園などの遊具の故障、不法投棄などを撮影した写真を市へ通報する「フッピーVoice」は、現在、利用開始から約5年が経過した。市民の皆さんの協力により、例年100件程度の通報をいただき、事故の防止や住環境の改善など迅速な対応につながっている。一方、一般的に普及啓発が課題とされ、さらなる周知が必要であると認識している。

## その他の質問事項

- ・本市の教育について
- ・健康寿命日本一と共生のまちの実現に向けて
- ・多文化共生の施策について
- ・田んぼダムの取り組みについて

## 一般質問とは

個々の議員が市政全般にわたり市長・教育長に対して行う質問で、各定例会で行います。質問時間は1人30分以内となっています。

### 質問内容

代表質問・一般質問の日程と内容を紹介します。



### 質問方式

- ①一括質問一括答弁  
議員が全ての質問をまとめて行い、市長などもまとめて答弁を行います。なお、再質問・再々質問まで行うことができます。
- ②一問一答  
議員の質問と市長などの答弁を一問ずつ交互に行います。

## 代表質問とは

翌年度の市政の運営に向けて会派の政策提言・提案という趣旨で会派を代表する議員が行うものです。本市議会では11月市議会定例会で、一般質問に先立ち行います。質問時間は、会派の人数によって異なります。

1会派あたり20分+(会派の人数×5分)  
※上限は60分です。

- 市民クラブ  
20分+(2人×5分)=30分
- 自民公明クラブ  
20分+(10人×5分)=60分(上限)
- 緑風会  
20分+(5人×5分)=45分